

SPARC 事業



地域活性化人材育成事業 ～SPARC～

大学と地域社会が連携し、新たな時代に向けて地域が求める「文系DX人材」を育成します。「文系DX人材」とは、データとデジタルを活用し、人々の暮らしや地域社会の幸福(ウェルビーイング)について、イノベーションを起こす力を持った人材です。

※本学は2022年度に文部科学省の「地域活性化人材育成事業～SPARC～」に採択されました。

□ デジタル社会に必要な力

社会や生活を「デジタル・トランスフォーメーション(DX)」で変革する力を育成するSPARC教育プログラムを提供しています。

一人ひとりの多様な幸せと社会全体の豊かさ(ウェルビーイング:well-being)の考え方に立ち、デジタル技術者と協力してDXを実践し、ひとや地域(まち・文化・教育)の課題解決のために貢献できる力を持った人材を育成します。

□ 全国初! 国公立大で設立した コンソーシアムで「文系DX人材」を育成

SPARC事業は、3大学で設立した「一般社団法人やまぐち共創大学コンソーシアム」のもとで進めています。

□ 大学の枠を超えて一緒に受講

3大学の学生が合同で授業を受ける「連携開設科目」や、DXによる地域課題解決型学習(PBL)を行う「共同開設科目」が受講できます。

□ SPARC教育プログラムで身に付ける6つの力

① 物事を俯瞰(メタ)的に
捉え思考する力

② 知的財産に関する知識

③ データサイエンスに関する
知識・技能

④ 地域の特性や特色を理解し、
自ら課題を抽出できる力

⑤ 課題解決においてDXを実践できる
知識・態度

⑥ 課題に対して、身に付けた知識や技能を活用して解決に向けた企画・立案ができ、他者と協働して解決を図ることができる力

6つの力を身に付けた学生を「文系DX人材」として認定します。

SPARC教育プログラムは、国際文化学部の3学科(国際文化学科、文化創造学科、情報社会学科)の基礎部分に入り、その上に各学科の専門教育が配置されています。

山口県立大学のSPARC教育プログラム

山口県立大学が提供する科目
山口大学から提供を受ける科目

DXによる地域課題解決PBL系列	地域課題PBL	DXによる地域課題解決(PBL)I DXによる地域課題解決(PBL)II	
	DX教育	DX概論	
	地域学	地域学	
STEAM人材育成系列	データサイエンス教育	データ科学と社会I データ科学と社会II データ科学のための数学入門 データ科学のための基礎数学 データサイエンス概論 データサイエンス演習	
		統計学概論 人工知能概論	
		知的財産教育	知的財産入門
		分野横断的専門	地域文化論 デザイン思考論 コミュニティデザイン論
		分野横断的教養	やまぐち未来デザインプロジェクトI やまぐち未来デザインプロジェクトII



メタバース教室



メタバースアプリ REALITY Spaces(REALITY XR cloud(株))※画像は試行中のものです。

地域活性化
人材育成事業
SPARC

